



集落支援通信29
集落支援 始動!

高校生イベント
『海士人村』開催

4月30日(土)と5月1日(日)の2日間、あまマールで、『子どもが創る子どものまち』をコンセプトに、『海士人村』を開催しました。高校生が主体となって企画・運営したイベントです。内容は、子どもたちが好きな仕事を見つけ、楽しみながら働くというものです。

生徒達は、たこ焼き、ネイル、書道展、風鈴屋、銀行など、様々な職種を体験し、一生懸命仕事に励んでいました。また、『人の関心を引くためにはどうすればいいか』を話し合う子どもの姿があり、子どもが自発的に考えて行動しながら楽しんでいました。

5月から集落支援員森佑樹があまマールに勤務となりました。よろしくお願いたします。

多井の盆踊り

今年度、是永直人と吉永千尋が集落支援員として地区にお邪魔し、一緒に地区を盛り上げていきます。よろしくお願いたします。今は地区を知ることが第一と考え、区長さんや公民館長さんと話したり、地区を歩いたりして情報を集めています。

多井地区では、8月に出張者との交流を兼ねて盆踊りを企画しています。しかし歌や踊りを完璧に覚えている人が地区にいないと聞き、記録や人物を探して復興する活動に取り組んでいます。盆踊りが盛り上がり、地区の活気につながればと考えています。



いざというときしっかりサポート

傷害保険 賠償責任保険 突然死葬祭費用保険

スポーツ安全保険

対象となる事故
団体活動中の事故/ 往復中の事故

保険期間
平成28年4月1日午前0時から
平成29年3月31日午後12時まで

補償内容
補償内容は、加入区分によって異なります。詳しくは、ホームページなどをご覧ください。

4名以上の団体・グループで加入ください。

まかせて安心

加入区分・掛金

加入対象者	補償対象となる団体活動	加入区分	年間掛金 (1人当たり)
子ども 中学生以下 特別支援学校 高等部の 生徒を含む。	スポーツ活動	A1	800円
	文化活動 ボランティア活動 地域活動	AW	1,450円
大人 (高校生以上)	上記団体活動に加え、個人活動も対象	C 64歳以下	1,850円
	スポーツ活動 スポーツ活動の指導・審判 ※右記年齢の判断は、「平成28年4月1日」と「掛金の支払い手続きを行う日」のいずれか遅い日の満年齢を基準とします。	B 65歳以上	1,200円
	文化活動 ボランティア活動 地域活動 準備・片付け・応援・団体の送迎 ※スポーツ活動を行う場合は対象となりません。	A2	800円
全年齢	危険度の高いスポーツ活動	D	11,000円

スポーツ安全協会 島根県支部
((公財)島根県体育協会内)

〒690-0015 松江市上乃木10丁目4番2号島根県立水泳プール内
TEL0852-21-5388 FAX0852-26-4733
電話受付時間:午前8時30分~午後5時(土、日、祝日、12月29日から1月3日を除く。)

スポーツ安全協会 検索

インターネットからも加入受付を行っております。詳しくは、ホームページをご覧ください。



携帯電話から資料請求ができます。

保険の詳しい内容、資料の請求は、ホームページをご覧ください。 <http://www.sportsanzen.org> ●資料請求は、インターネットより受付けております。

この広告はスポーツ安全保険(スポーツ安全保険特約書に基づく傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険特約・スポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)・突然死葬祭費用担保特約付普通傷害保険)、賠償責任保険(スポーツ安全協会賠償責任保険特約等付施設賠償責任保険及びスポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)付普通傷害保険賠償責任担保条項))の概要についてご紹介したものです。ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあまし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)までお問い合わせください。

(引受幹事保険会社)
東京海上日動火災保険株式会社(担当課)公務第2部 文教公務室
TEL 03-3515-4346(平日9:00~17:00)

(共同引受保険会社(平成28年4月))
あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン日本興亜 大同火災 東京海上日動
日新火災 富士火災 三井住友海上
平成28年3月作成 15-T11270

教育だより

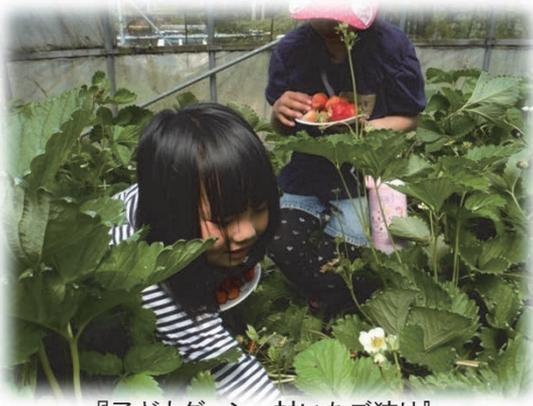
【海士町教育委員会】

地域の方から学ぶ
～公民館のふるさと教育～

海士町中央公民館では、今年度も地域の教育資源を活かした教育活動（ふるさと教育）を企画しています。

その活動で講師として活躍してくださっているのが、海士町在住で、様々な特技や趣味をお持ちの方たちです。

今回は講座の様子や、中央公民館を中心に行っているふるさと教育について紹介します。



『子どもダッシュ村いちご狩り』

はじめに紹介するのは、『子どもダッシュ村』です。ダッシュ村は中央公民館とダッシュ村実行委員会が連携し、海士らしい体験活動を通して、郷土愛を育むことをねらいとして行われています。

第1回目は毎年大人気の『いちご狩り』でした。はじめはいちごを食べることに一生懸命な子供たちも、お腹がいっぱいになると、近くにあるミツバチの箱や毛虫、道具に興味に移り、いちご狩り以外の活動が始まってしまいました。そんな時に、講師の向山剛之さんが言われたのは「このごんたはどこの子だ？（このいたずらする子はどこの家の子どもだ？）」

その後のやり取りから、参加した子供のおじいさんがわかり、「それならわかった！じいさんの子供のころと同じだ！」という向山さんの言葉に、会場に笑いがおき、和やかな雰囲気になりました。

このように、ダッシュ村では海士の自然や人との関わりの中で、多くのドラマが生まれています。また、参加した子供たちは講師の方や公民館のスタッフに見守られながら、のびのびと活動しています。



『ふるさと再発見ツアー』

次は、『ふるさと再発見ツアー』です。ダッシュ村と同じようにこのツアーの講師も地域の方です。

今年度第2回目の案内人は崎の滝中茂さんでした。滝中さんは、後鳥羽上皇や海士の歴史について文献や様々な資料をもとに研究を続けておられ、再発見ツアーの名案内人です。今回は『歴史の影に女性あり！亀菊ゆかりの地をめぐる』をテーマとして、後鳥羽上皇と側室の亀菊の和歌や伝説をお話していただきました。

都から海士へ向かう道中のお話では「亀菊が返歌をした時に、上皇は籠の中から亀菊の手をぎゅっと握りしめたのではないかと思う」と

いうように、滝中さんの私見も交えながら、時にはおもしろく、時には切なく語っていただきました。

ツアーの最後には『亀菊の墓』と伝えられている場所に行き、滝中さんの歌を聞きながら、当時の様子に思いを馳せる参加者の方々の姿が印象的でした。

このように、ふるさと再発見ツアーでは、参加者にとって身近な場所を巡りながら歴史や文化を学ぶことができます。案内人の方も海士在住の人であり、まさしくふるさと海士の魅力を再発見できるツアーとなっております。

海士町中央公民館主催のふるさと教育講座に参加すると、温かく包みこむような講師の人柄や、常に学ぶ姿勢を持って、海士町の歴史や文化、自然の中でいきいきと生活されている前向きさに触れることができます。

今後中央公民館では、『地域の方から学ぶ』をテーマに、海士の魅力や普遍的な価値に気付くことができる講座を企画していきます。

皆様の参加をお待ちしております。

（地域共育課 社会教育主事

藤野幹雄）